



桜の咲くころから ホタルの上陸が始まります。

2月13日 ほたる館情報
ヘイケボタル 3匹

3月20日前後、桜の開花が宣言されるころの**雨の降る夜**、ゲンジボタルの幼虫の上陸が始まります。なぜ雨の降る日に上陸するのでしょうか。

それには次の2つの理由が考えられます。

- ①乾燥しないように、川の中の環境に近い雨の日を選んでいる。
- ②雨が降ると土が柔らかくなって潜りやすい。

ただ、経験上シーズンの最初は雨の日の上陸しますが、その後は曇りの日でも上陸することがあるようです。

土の中に潜った幼虫は、50日ほどして土から出て飛び始めます。北九州市の平地のホタル飛翔のピークは**5月27~30日**ごろです。

5月の最後の1週間から6月最初の1週間がホタルの見頃です。

6月半ばになると、合馬(小倉南区)や河内(八幡東区)で見られます。



光りながら上陸する幼虫

ほたる館の仲間たち



タカハヤ

滑った体から「あぶらハヤ」とも呼ぶ人もいるが、本州にいる「アブラハヤ」とは別種。溪流部に生息し、流れが緩くなった淵や淀みに集まる。

ホタル一口メモ

ゲンジボタルはオスのほうがメスより早く生まれる。

ゲンジボタルは、オスのほうがメスより1週間から10日ほど早く生まれます。したがって、ピークまでの前半はオスが多く、メスと出会えないオスがたくさんいるのです。なぜオスが早く生まれるかははっきりしていませんが、モンシロチョウのオスが早く生まれるのと同じ理由ではないかと考えます。モンシロチョウのオスは性の成熟に数日かかるのでメスより先に生まれてメスが羽化するのを待っています。メスは羽化直後から交尾可能なのです。同じような理由でゲンジボタルのオスもメスより早く生まれると考えられます。

3月のイベント

- ① ホタルと連鶴の折り紙教室
3/12(土) 13:00~14:00
- ② 親子で学ぶ昆虫学入門
「昆虫の種類を学ぶ」
3/19(土) 14:00~16:00
- ③ 生き物講座
「南米・奥アマソンの
不思議な生き物たち」
3/26(土) 14:00~16:00

※3月3日(木)より募集開始

※中止になる場合があります。

ご了承ください。



北九州市ほたる館

住所 〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1
 開館時間 9:00~17:00
 入館料 無料
 休館日 火曜日(祝日の場合はその次の平日)
 年末年始(12/29~1/3)
 HP <https://hotarukan.jimdofree.com/>
 西鉄バス45番・49番 第一熊谷町から徒歩5分
 お問い合わせは TEL 093-561-0800



ホームページ



Facebook



Instagram

